

災害復旧支援活動に備える

小型重機運転の資格を取得

長野教区の僧侶・門信徒8人

環として、ビハール長野、同教区社会福祉協議会の事業として企画した。12月19、20日にも予定されている。

長野教区は10月24、講習を受け、免許を取得した(写真)。

25日、災害復旧支援活動で重要な役割を果たす小型重機の資格取得のため、教区内の僧侶、門信徒8人が長野市の中部労働技能教習場で

講習を受け、免許を取得した(写真)。

参加した同市・専福寺門徒の藤原泰之さんは「災害被災地で、自分でも役に立てる技能を取得したい」と思い参加した。こうした講習を受ける機会が増えたら、たくさんの方々が支援に参加できると思う。いい機会をいただいた」と語った。

この取り組みは、災害支援の一助であるとともに、「小型重機」をきっかけにした人材育成とご縁づくりの一

